プロテオミクス遺伝学演習

Laboratory Practice of Proteome Genetics

2 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年), 3 年 (通年)

蛯名 洋介(授業責任者)・教授/プロテオミクス医科学専攻 生体応答医学講座
内山 圭司・准教授/プロテオミクス医科学専攻 生体応答医学講座, 湯浅 智之・准教授/プロテオミクス医科学専攻 生体応答医学講座
長屋 寿雄・助教/プロテオミクス医科学専攻 生体応答医学講座

【授業目的】糖尿病を例に取り，プロテオミクス遺伝学を修得し，先端的研究を推進する．

【授業概要】インスリンホルモンを中心に細胞内シグナル伝達のメカニズムの解析や，その破綻によって起こる糖尿病について，特に必要ないくつかのこの分野での代表的学術論文を抄読させ，仮説や研究計画の立案の仕方や，その実証方法について統括的に指導する．

【履修上の注意】e-learning 学習は扱っていない

【授業計画】

	大項目	担当
1.	授業ガイダンス+プロテオミクス遺伝学序論	蛯名
2.	遺伝子工学基礎実習 1	〃
3.	遺伝子工学基礎実習 2	〃
4.	遺伝子工学基礎実習 3	〃
5.	細胞生物学演習・講読 1	〃
6.	細胞生物学演習・講読 2	〃
7.	細胞生物学演習・講読 3	〃
8.	ゲノムシークエンス実習	〃
9.	組換え DNA 実習 1	〃
10.	組換え DNA 実習 2	〃
11.	プロテオミクス分子遺伝学解析実習 1	〃
12.	プロテオミクス分子遺伝学解析実習 2	〃
13.	プロテオミクス分子遺伝学解析実習 3	〃
14.	パイオインフォマティクス総論演習	〃
15.	バイオインフォマティクス各論演習	〃

【成績評価】出席状況・実習態度・レポート等により評価する．

【授業コンテンツ】http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217572

【連絡先】

⇒ 蛯名 (088-633-7436, iden@ier.tokushima-u.ac.jp) Mail (オフィスアワー: 水曜日の16:00~ 17:30)

【備考】視聴覚設備を最大限利用し，わかりやすい講義を行う